



プロジェクト

めざせ、健康寿命日本一おおいた ～多様な主体との協働による県民運動の展開～

受賞者

大分県

所在地 〒870-8501 大分県大分市大手町3丁目1番1号

URL <http://www.pref.oita.jp/site/kenkozumyo-nipponichi-oita/>

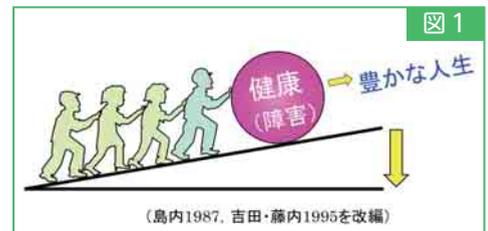
電話 097-506-2666

E-mail a12210@pref.oita.lg.jp

取組・事業実施目的

多様な主体との協働による県民運動の展開

生活習慣の改善は個人の努力だけでは容易ではない。ヘルスプロモーションの理念に基づき、県民一人一人が主体的に健康づくりに取り組む機運を醸成するとともに、多様な主体と協働して、地域や職場で健康的な生活習慣を実践できる社会環境の整備を進める。(図1)



(島内1987, 吉田・藤内1995を改編)

取組・事業の概要と特徴

県民総ぐるみで取り組む機運の醸成

◇「健康寿命日本一おおいた創造会議」

経済団体をはじめ県内の主要39団体からなる創造会議を立ち上げ、各団体による取組を推進するとともに、企業の強みを活かして、健康寿命の延伸に協力する「健康寿命日本一おうえん企業」(65社)とのマッチングを推進し、新たな取組(図2)を創造。

◇「みんなで延ばそう健康寿命」推進月間(毎年10月)

平成28年9月から11月の3か月間に、県内各地で運動や食生活等の改善にかかる319のイベントが企画され(29年度は469イベント)、83,500人が参加(29年度130,370人)。



健康づくりを支援する社会環境の整備

◇「健康経営」の推進(図3)

働く世代の健康づくりをめざして、保健師による企業訪問(年間695社)や優秀事例の知事表彰等により「健康経営」を推進。健康経営事業所として1,179社が登録され、県独自の基準で292社を認定。特定健診受診率の向上やメタボ該当者の減少につながっている。

◇「うま塩」プロジェクト(図4)

産学官の連携により、美味しく減塩できる「うま塩」レシピの開発と商品化を行い、外食・中食・配食(80店舗)、給食(407校)の「うま塩化」を推進。「うま塩」配食サービスは高血圧や心臓病、糖尿病性腎症患者の在宅療養に貢献。



健康寿命をのばすポイント

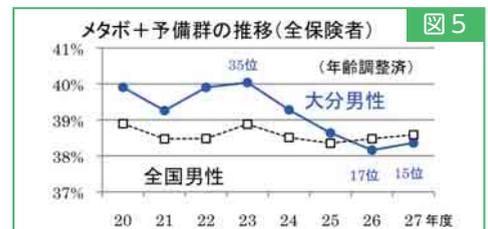
生活習慣が改善し、メタボも減少

国民生活基礎調査の「健康のために日頃から実践していること」は平成25年からの3年間で各項目とも改善。

国民健康栄養調査での塩分摂取量は、24年からの4年間で、男性11.2g→10.4g、女性9.1g→8.8gと改善。

特定健診(全保険者)のメタボ該当者と予備群の割合は平成23年度からの4年間で、男性35位→15位、女性44位→35位と順調に改善。(図5)

平成27年12月に発表された25年の大分県の健康寿命は、男性16位、女性10位と大きく躍進し、22年からの3年間で、男性は1.71歳(全国2位)、女性は1.82歳(全国1位)の伸びを記録。



▶大分県の取組詳細は「めざせ!健康寿命日本一おおいたWEB」をご覧ください。